

○ご意見及びご質問について、各学科長から回答を頂きました。

都城高専後援会からいただきました以下のご意見については学科で対応できるところは、対応したいと思います。

- ・説明会をオンラインでして頂けたら助かります。
- ・コロナの感染拡大で、学校での実験等が思うようにできない状況という事で、学生達が学業に専念できるよう学校の方でも対策を取られていると思いますが、家庭での感染対策にも気を付け、彼らが学業に集中できる環境を整えて頂けたらと思います。
- ・コロナ休校中のリモート授業について充実させてほしい。

次に、後援会からいただきました①～⑦のご質問に対する回答は以下の通りです。

① どのような資格を取得していたら就職のときに良いのか教えてください。

M 科：特に必要ありません。多くの企業は、必要な資格は入社後に取得（経費は企業負担）してもらうことにしていますので、在学中の取得は特に求めておりません。ただし、英検等の英語の資格は、より上位資格を取得していると良い評価が得られると思います。

E 科：電気主任技術者と情報処理技術者が主な資格になります。電気主任技術者の資格は、第一種～第三種までありますが、一番易しいのが第三種になります。

C 科：特に必要ありません。企業面談の際に、就職に役立つまたは入社してから役立つ資格等あるか質問したところ、必要な資格は入社後に取得してもらうので、在学中の取得は必要ないとの回答をいただきました。

A 科：建築学科本科では実験や座学を通して、測量士補・補建築積算士が取得できますが、特に後者は過去の就職活動で役に立てた卒業生が何人かいます。建築学科では本科課程修了により、一級・二級建築士の受験資格がありますが、専攻科1年生時に二級建築士を取得すると（約半数が取得）、就職活動で有利に展開できます。工業高校卒業や大学生ではまだ受験できないため、もっとも若い20歳で取得できるのがその第一の理由ですが、取得の過程で得た自信が有形無形の形で面接時に現れます。

② 高専生活をより充実するためにやっておくといいことを知りたいです。

M 科：学業に一生懸命に取り組むことが一番ですが、クラブ活動ができればより良いと思います。学業やクラブ活動を通じて一生付き合えるような良い友人ができる場合が多いと思います。就職面接では、「高専の学生生活で学業以外に何か頑張ったことがありますか？」などの質問があり、充実した学生生活が送れていて人間的に成長できた学生は高く評価されます。

E 科：クラブ活動をやっておくとよいと思います。

C 科：学業以外に部活動や課外活動など「学生時代にがんばったこと」として人に紹介できることに挑戦してください。

A 科：建築学科の就職においては、単に成績の善し悪しだけでなく、全人格的に評価されることが多いです。すなわち、高専の 5 年間で「学業以外に」なにをしてきて、どんな人間的成長をしてきたか、が問われるわけです。4年次のインターンシップや4年次から5年次の就職活動の際に使うエントリーシートや推薦書に書く内容が充実するように、この 5 年間でいろいろな経験を重ねてください。たとえば学級役員、4年研究発表、校外実習、体育競技会・学生会・寮生会・文化祭(高専祭)の役員を重ねさせて欲しいと思います。あと、ものづくり同好会は低学年から建築関連の内外の人と触れ合えるよいクラブ活動です。現場での大勢の人間をまとめて作業を進めるには運動系部活がよいでしょう。特に部長などの役職を務めると建設会社・土木系の就職では有利なようです。

③ 大学編入者のうち、一般受検と推薦の割合が知りたい。

M 科：年度によって変動はありますが、一般受検が 2～3 割程度、推薦が 7～8 割程度です。

E 科：年度によっても変わりますが、推薦が 7 割～8 割程度、学力が 2 割～3 割程度です。

C 科：年度によっても異なりますが、一般受検：25～50%、推薦受検：50～75%で推移しています。

A 科：過去 4 年の大体の傾向は以下のようです。大学受験者は年により数値も受験方法もかなり変わりますので、平均値での表示は控えさせていただきます。

H29 年度 熊本大学(推選) 2名 推選 100%

H30 年度 熊本大学(推薦)2名, 鹿児島大学(推薦)1名, 鹿児島大学(学力)1名
日本大学(学力)1名 推選 60% 学力 40%

R01 年度 豊橋技術科学大学(学力) 1名 推選 0% 学力 100%

R02 年度 熊本大学(推薦)1名 推選 100% 学力 0%

④ 資格取得を目的とした講習会等がありますか。

M 科：質問①で回答した理由から、全体的な講習会等は実施していませんが、学生の個別の講習等の相談には応じています。

E 科：第三種電気主任技術者試験セミナーを、夏休みに 4 日間、希望者のみ実施しています。

C 科：過去に 4 年生対象で外部講師を招いて危険物取得者乙種取得に向けた講習会(年4回)を実施したことがあります。しかし、開催日が土曜日だったことや校内スケジュールとの調整の難しさ、学生の取り組む姿勢などが原因で講習会の効果が確認できなかった為、現在は実施していません。

A 科：建築学科では 5 年次の秋から総合資格や日建学院と連動した二級建築士受験講座を行っています。開催場所は校内であったり、各学校の教室であったりします。

他に、専攻科 1 年時に二級建築士を受験する際は、本校卒業生の現役設計事務所の一級建築士による補習もあります。

⑤ 資格取得について、工業高校のように案内や勧めがありますか。

M 科：資格取得に関する学協会等からの案内は、学科内に掲示しています。

E 科：案内が届いたら、クラスや学科の掲示板に掲示しています。

C 科：外部団体((一財)消防試験研究センター宮崎県支部等)から案内があった場合は、その都度、学生に周知しています。その他、在学中に受験可能な資格として就職後に取得を求められそうな資格の案内を実施しています。

A 科：建築学科では 5 年次の秋から総合資格や日建学院と連動した二級建築士受験講座を行っています。これは5年生になったら担任から学生へ案内があります。

⑥ 授業評価アンケートを実施されているようですが、どのような形で各教員へ反映されているのですか。これによって授業が改善されているのでしょうか。

授業評価アンケート結果は教務係で集計され、各教員に配信されています。教員は「分析結果」及び「今後の課題」について回答し、必要な授業の改善をすることになっています。また、この「分析結果」及び「今後の課題」についての回答は教務係にも提出し、教務指導部により確認がなされています。特に必要な授業改善については、教務主事から担当教員に連絡されています。

⑦ 特定の授業だけ宿題（課題）にかかる時間が、他の授業に比べて多いように見受けられます。徹夜して何とか期限までに提出といったこともあるようです。それほどの課題が必要なのでしょうか。

ご質問の内容の把握等は基本的には教務指導部業務になりますが、学科で把握した場合は、早急に対処します。

○学生寮に関する回答を学生課長から頂きました。

- ・ **新しい女子寮の見学と説明会をしていただけないでしょうか。**
(日々の支払い等の説明とルーターの購入等)

国際寮への入居等についての説明・注意事項等について、7月19日付けの通知で女子寮生の保護者の皆様に周知いたしました。併せて、7月20日及び7月27日に内覧会を実施したところです。また、7月19日付けの通知の際には、別途「ネットワークの概要や寮室でのルーター等の接続例等」についての説明文も添付いたしましたところです。

なお、ネットワークの使用料については、10月1日付けで通知いたしました。

9月25日・26日の国際寮への入居後、ルーターの接続ができない寮生もおりましたが、学校側、寮生側の両方で調査し、現在では、ルーター持参の寮生の全ての接続確認ができております。新しい寮への入居が間もないことから、不慣れな事等あろうかと思いますが、ご不明な点等ありましたら、寮事務室(☎0986-47-1138又は1139)までご連絡いただけたら幸いです。

○後援会からの回答

- ・ **本説明会、なぜ後援会が主催するのでしょうか。学校が行うべきだと思います。**

学科別説明会を後援会が主催している件に関して、後援会から説明いたします。

学科別説明会は、保護者からの要望で開催されることとなり、その際、後援会の合同支部総会と同日開催を要望した経緯があるとのことです。上記の経緯から学科別説明会は、後援会が学校へ開催を依頼しており、合同支部総会と同日開催できるように後援会と学校で日程を調整しています。